

平成30年度岐阜県大会

生徒講評文

8月 3日 1校目

各務原西 高等学校

昨日の華は明日の空

(既成・創作)

この劇のテーマは「みんなで一緒にやれば前に進める」「人間関係」「友情」だと考えた。華子さんとミツバはいじめられる点で同じ立場であり、スイ先生とアンズはいじめを止められなかったという点で同じ立場であった関係を、現在と過去を交錯させて表現していた。華子さんが転校生として突然現れたのはミツバの友達になるためと、ミツバが自殺するのを止めるためであった。文化祭で華子さんがチアダンスをやることを提案したのは、生前にできなかった「みんなで踊ること」をやり遂げるためと、いじめられているミツバを応援するためであった。また、ダサイと言われていたラジオ体操の振り付けも取り入れていたことで、みんなで作り上げたチアダンスになっていた。ただ、いじめる側の心境の変化に触れていなかったため、いじめた子たちが最後に楽しそうにみんなとチアダンスをする姿には違和感を覚えた。ラストシーンでは亡くなった華子さんと、生きているミツバとアンズの隔たりを作るのに緞帳を効果的に使う工夫が見られた。題名からは華子さんが文化祭を通して成仏したということが分かった。

照明はリストカットのシーンでホリを真っ赤にするなど、台詞と連動していた。また月をスポットライトで作っていたのがよいと感じた。

装置については、トイレの中が見えるように作られていたり、壁の下の方が汚れの度合いがひどくなっていたりして、リアルであった。黒板もしっかりと書ける装置として作られているなど、全体において再現度が高かった。

流しで手を洗う時の音響と動作に全くズレがないなど、全体的に一体感があり、緻密な作品であった。

各務原西高校の皆さん、お疲れさまでした。

大垣北高校

角田蒼

